

作成者: SystemKOMACO

学習月日: 年 月 日

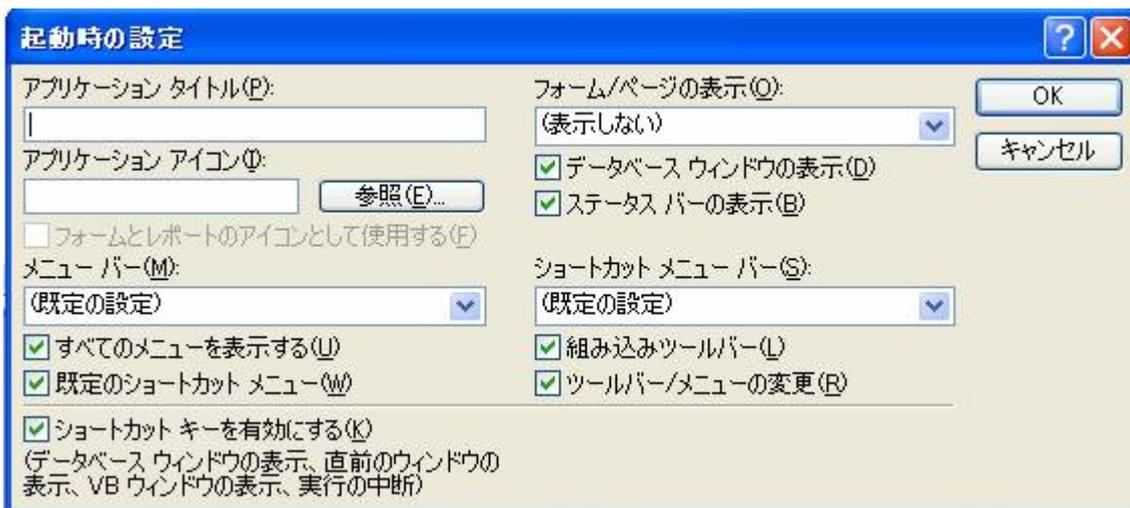
## 起動時の設定

作成したデータベースごとに、データベースが起動する時の設定を行うことができます。

[起動時の設定]は設定したデータベースの再起動後に有効になります。

**起動時の設定を無視する: Shift キーを押しながらデータベースを開きます。**

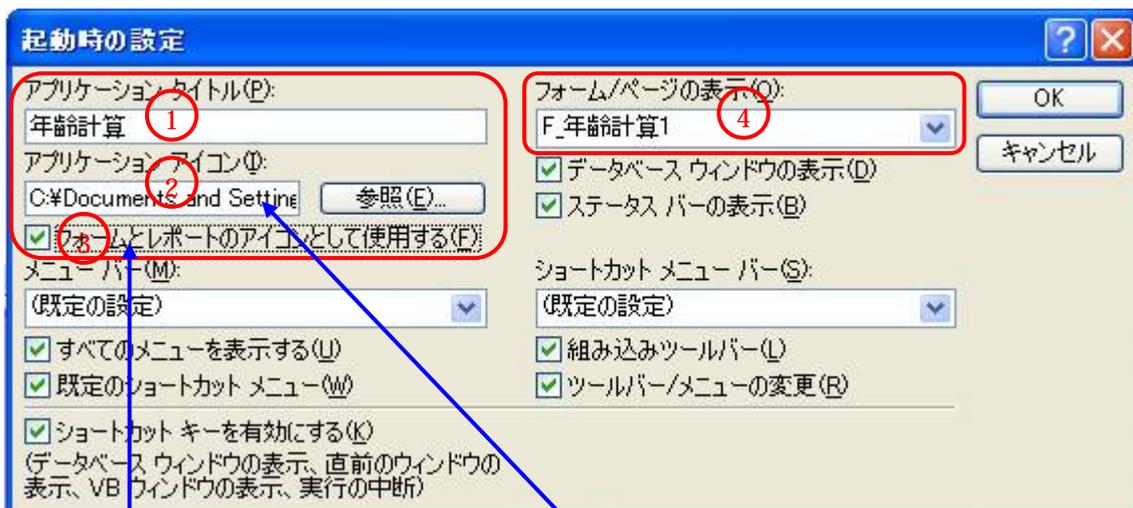
### 起動時の設定 1 規定値



起動時の設定については次のテキストでも触れていますので、参照してください。

[「Access 起動時にフォーム・ページを開く\(2004/08\)」](#)、[「Access を開くときにアクションを実行する\(2004/04\)」](#)

### 起動時の設定 2 ~ を変更



Access 2002  
以降で有効

アプリケーションアイコンは「.bmp」または「.ico」ファイルを指定します。アイコンファイルは Access アプリケーションと同じフォルダに保存します。

作成者: SystemKOMACO

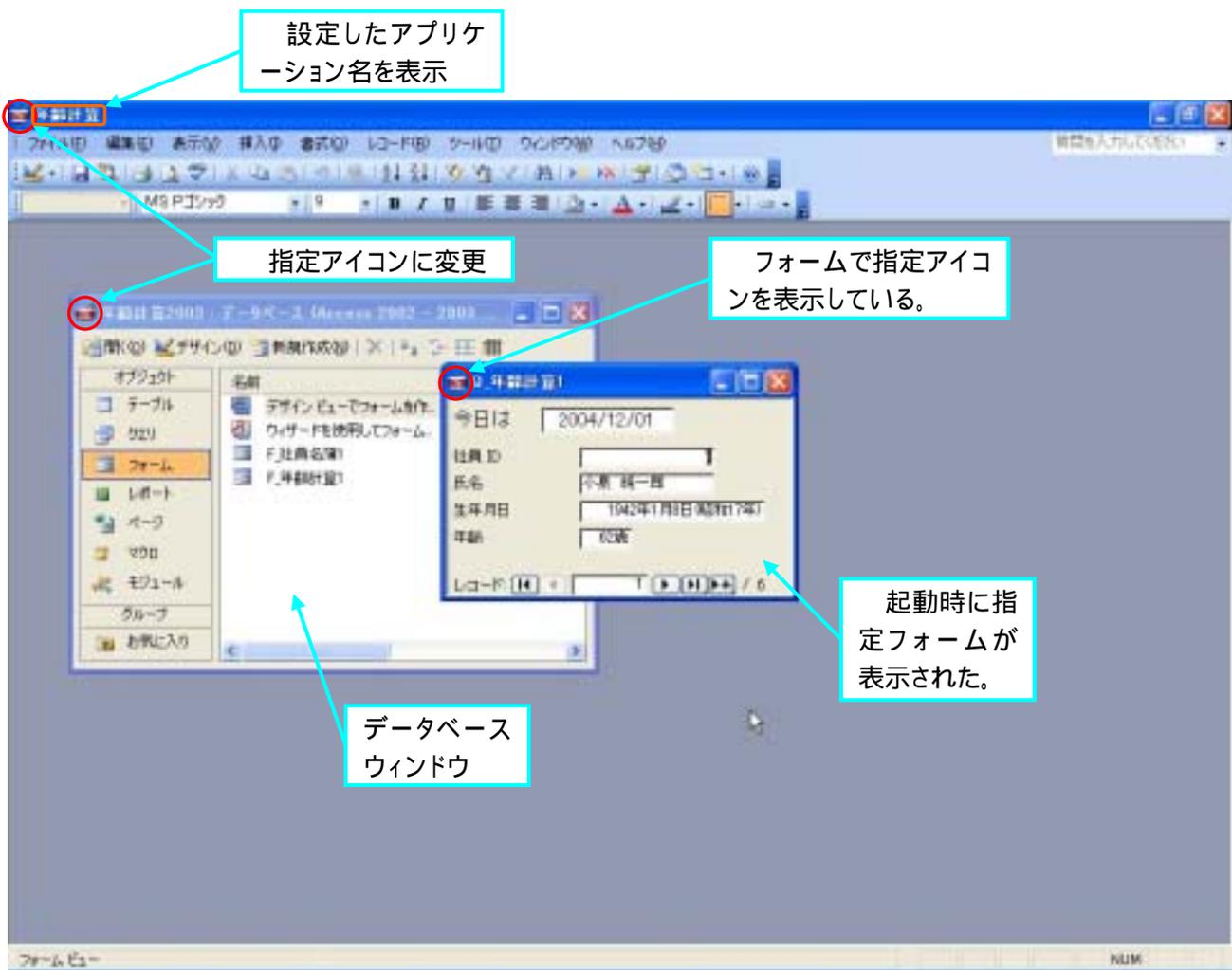
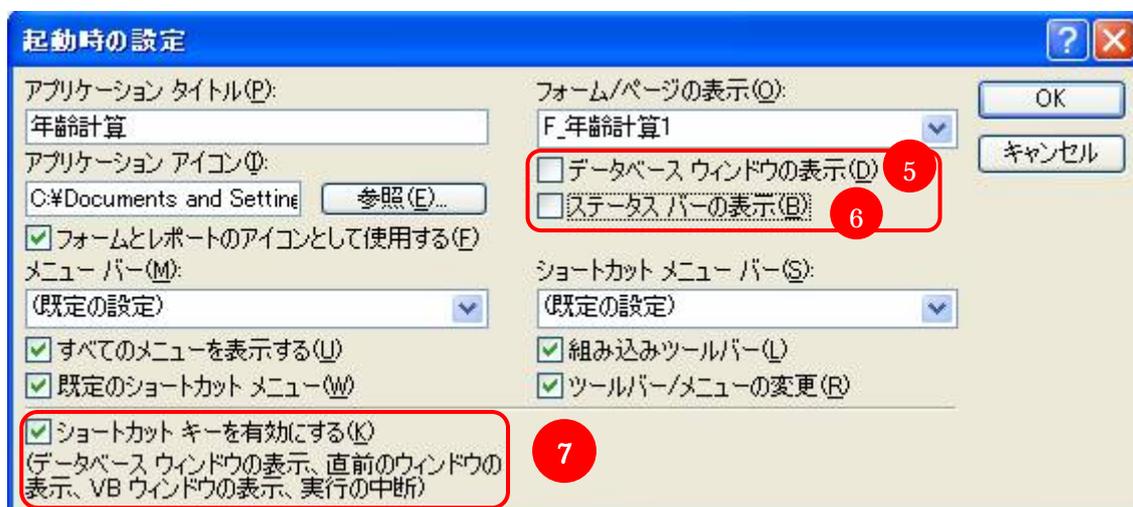


図 1 設定後のデータベースを再起動したところ

### 起動時の設定 3

[データベースウィンドウの表示(D)]と[ステータスバーの表示(B)]オプション選択





作成者: SystemKOMACO

[起動時の設定 4]で[メニューバー(M)] を[規定の設定]からオリジナル作成のメニューバーに変更できます。

**注意!** メニューバーの変更は設定によっては設定されたデータベースの他の作業ができなくなることがあります。

起動時の設定 4 [メニューバー(M)]を作成した「カスタム」メニューバーに設定。

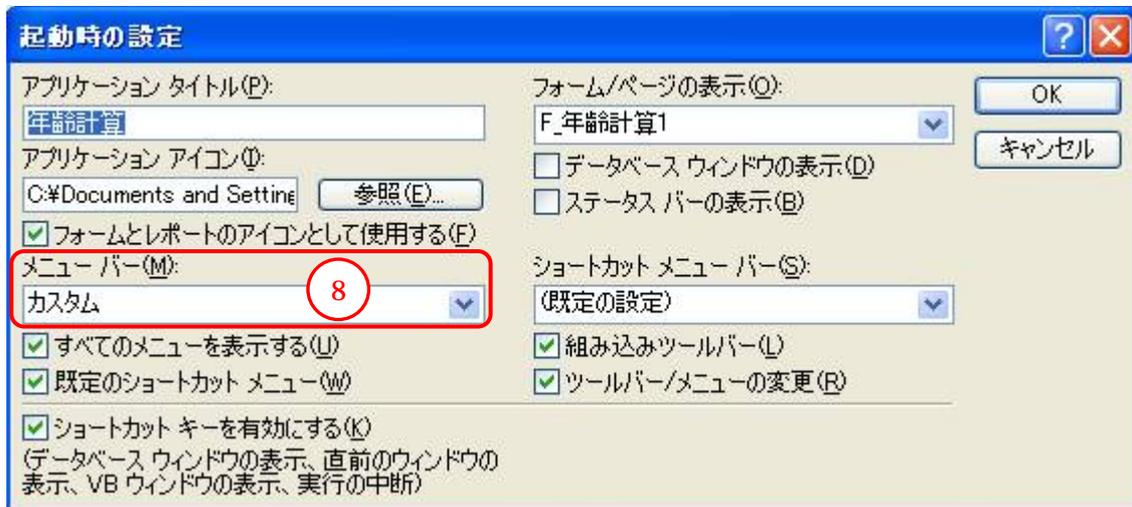
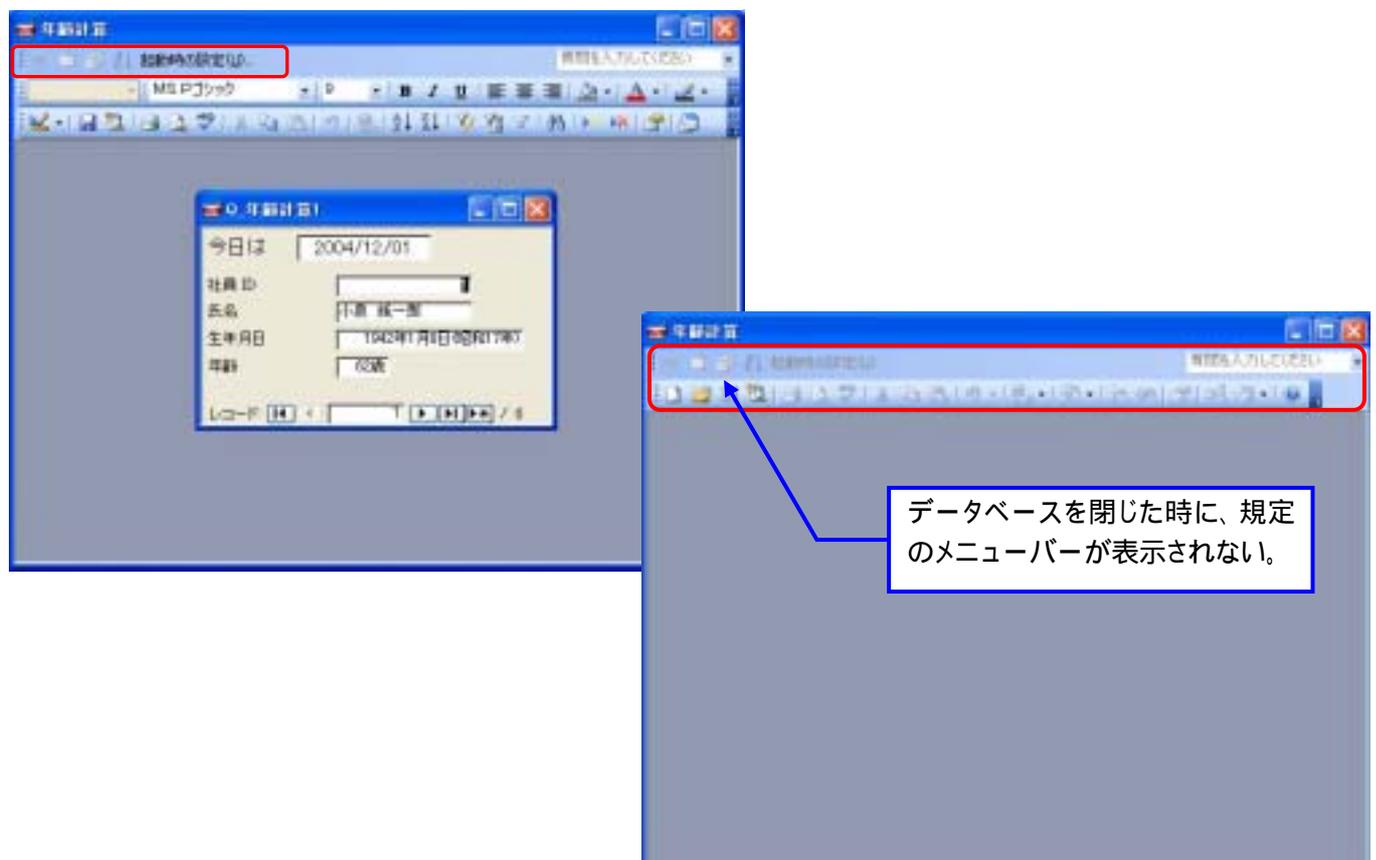


図 4 起動時の設定 4 の設定後データベースを開いたところ。図 3 の画面とメニューバーが違う点に注意。



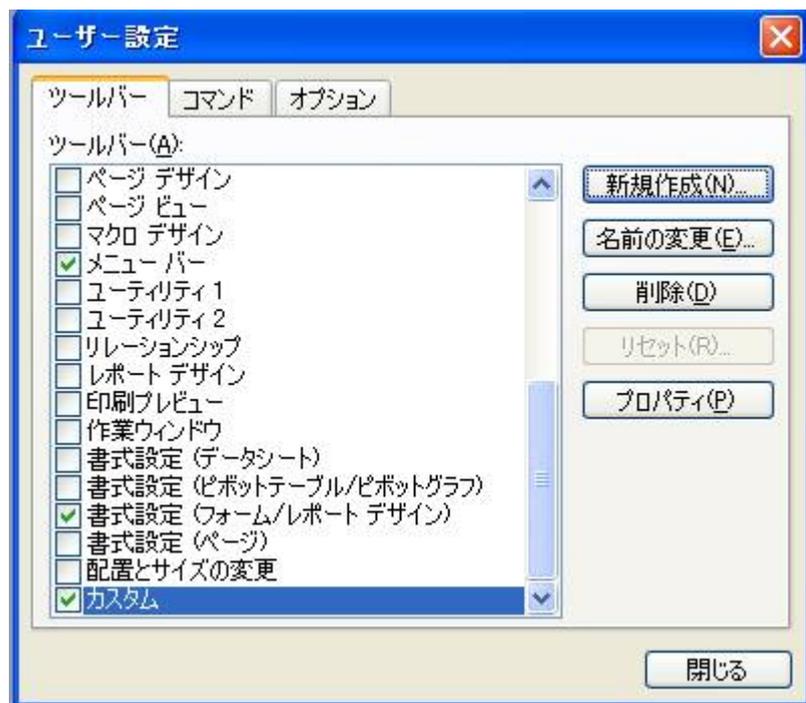
作成者: SystemKOMACO

## オリジナルメニューバーを作成するには

新しいツールバーの作り方は『超図解 ACCESS 総合編』の 408 から 417 ページを参照してください。

[表示] [ツールバー] [ユーザー設定]か[ツール] [ユーザー設定]からツールバータブの新規作成でユーザー設定ツールバーを作成します(ここでは「カスタム」と名前を付けています)(図 5)。

図 5 ツールバー新規作成、プロパティ画面

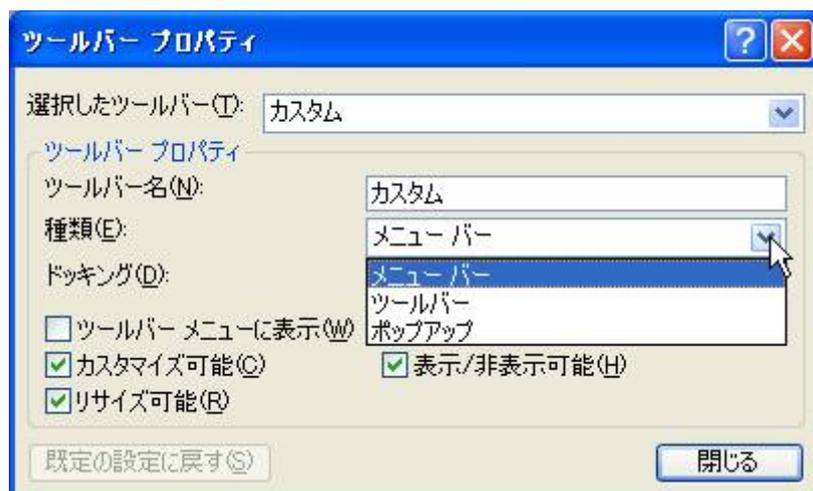


次に、作成したツールバーを選び(チェックボックスにチェックを入れる)、プロパティ ボタンをクリックします(図 6)。

[ツールバー]タブの[カスタム]以外は組み込みツールバーです。

図 6 ツールバーのプロパティ

種類から、[メニューバー]を選びます。



**組み込みツールバー**: Access がセットアップしたときに組み込まれるツールバー。

**カスタムツールバー**: アプリケーションを使うためにユーザーが独自に作成するツールバー。

作成者: SystemKOMACO

起動時の設定 5 「すべてのメニューを表示する」をオフ

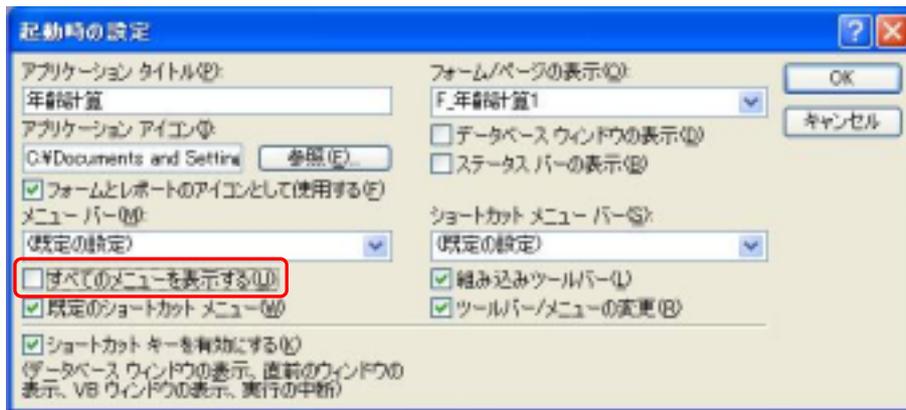
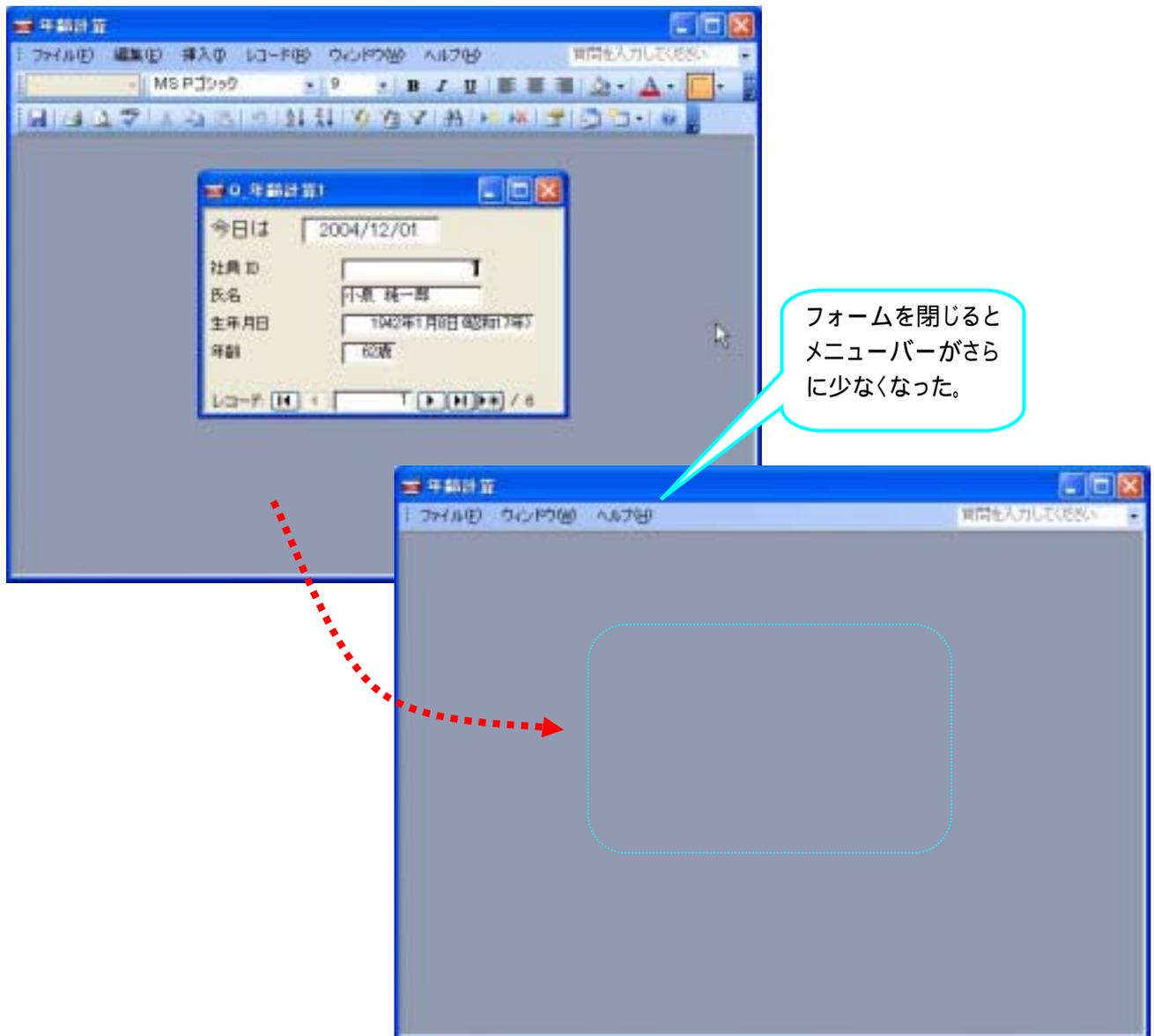


図 7 起動時の設定 5 後の画面。

図 3 のメニューバーに比べ減っている。



起動時の設定 6 [規定のショートカットメニュー(W)]をオフ

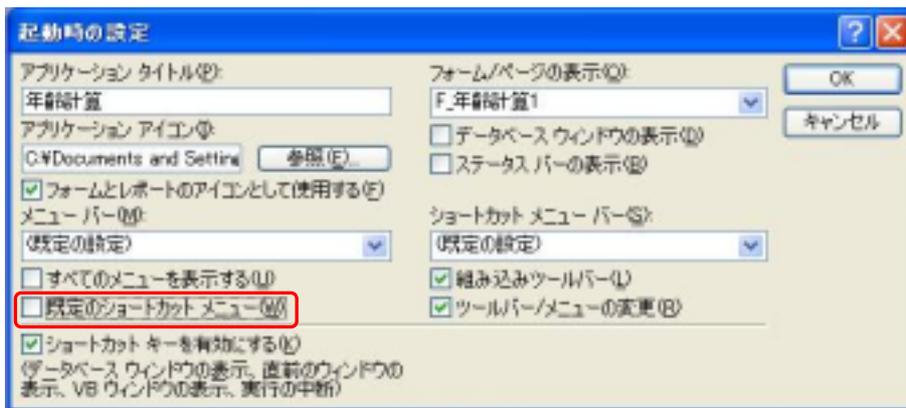


図 8 規定のショートカットメニューがオンの時は、フォーム上で右クリックするとショートカットメニューが表示される。

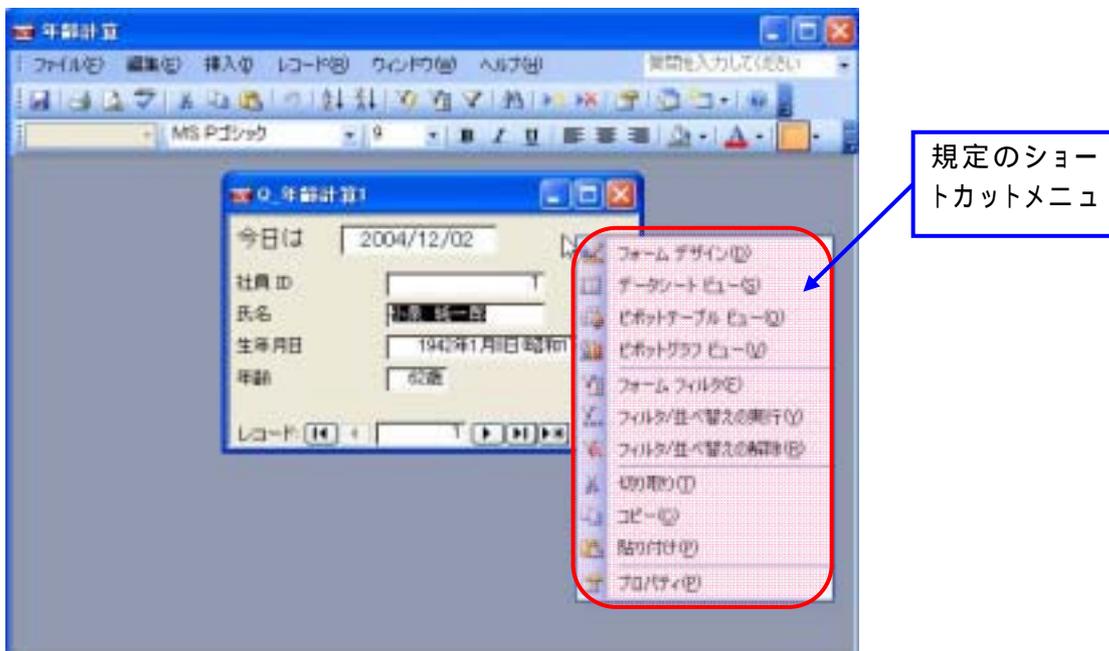
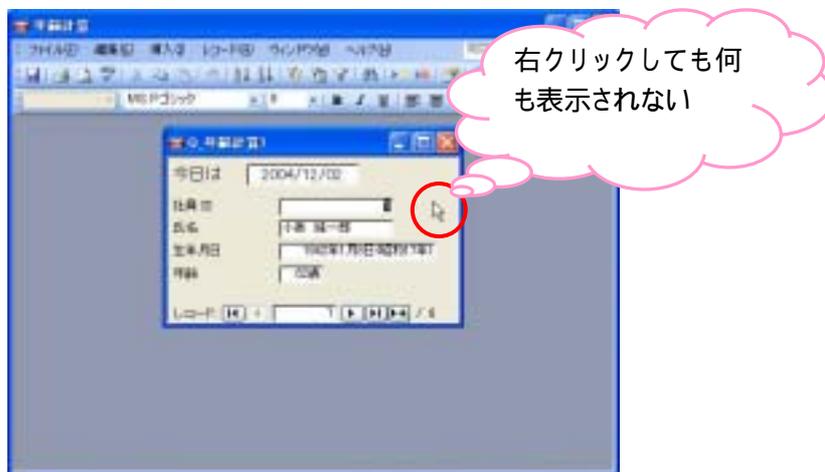


図 9



作成者: SystemKOMACO

起動時の設定 7

[組み込みツールバー(L)]をオフ

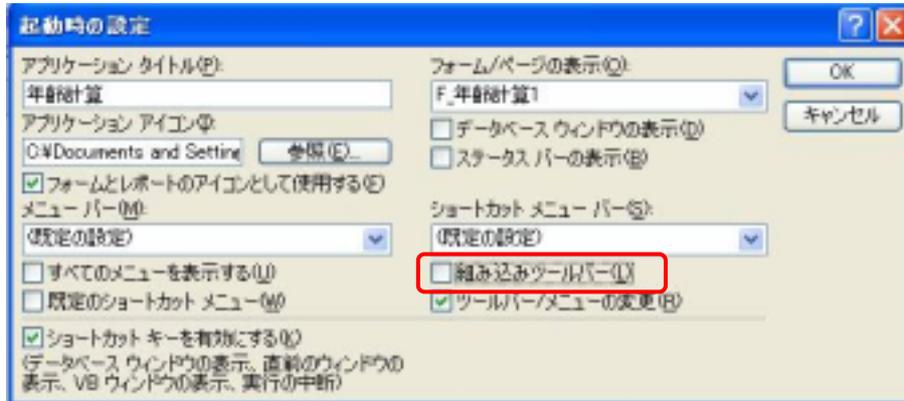


図 10 [ツール]の[ユーザー設定]

[組み込みツールバー]が非表示(図 5 参照)

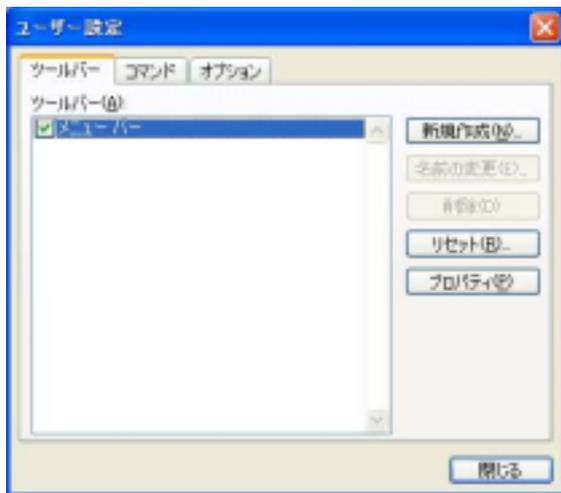
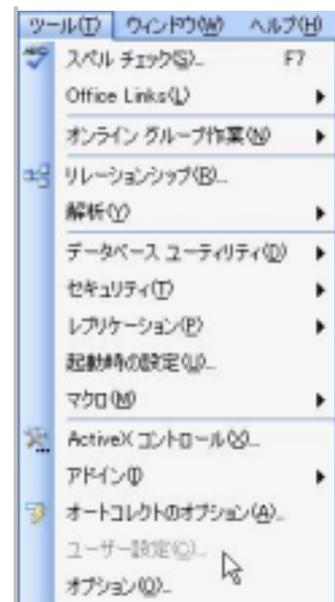


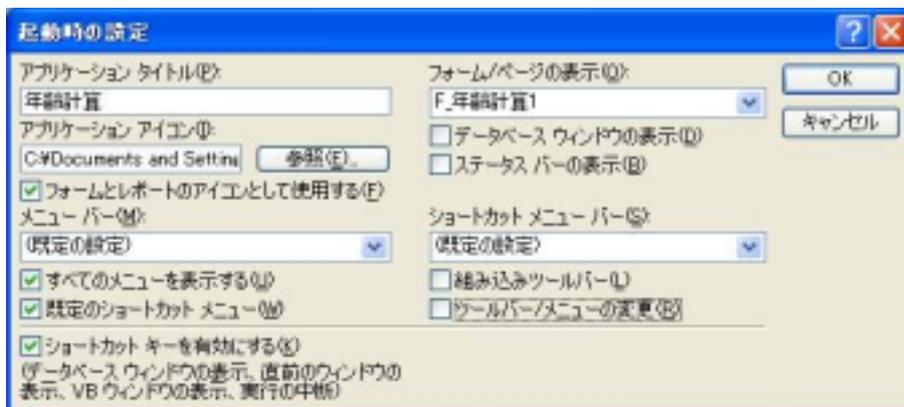
図 11

ユーザー設定が非表示



起動時の設定 8 [ツールバー/メニューの変更(R)]のチェックをオフ

図 11 の [ユーザー設定] が非表示になっており、変更ができない。



作成者: SystemKOMACO

<発展>

フォームでのショートカットメニューバー

[起動時の設定 7]で[規定のショートカットメニュー(W)]を「オフ」にした場合、すべてのショートカットメニューが使用できません。しかし、**フォーム**と**レポート**ではショートカットバーを設定した場合**有効**になります。

フォーム全体でショートカットを使用する場合は、この四角のプロパティシートを開きます。特定のコントロールで使用する場合には、こここのコントロールのプロパティシートを開きます。

書式	データ	イベント	その他	すべて
ポップアップ				いいえ
作業ウィンドウ固定				いいえ
Tabキー移動				すべてのレコー
メニューバー				
ツールバー				
ショートカットメニュー				はい
<b>ショートカットメニューバー</b>				<b>ユーザー設定 1</b>
高速レーザー印刷				はい
ヘルプファイル				
ヘルプコンテキストID				0
タグ				
コード保持				はい
デザイン変更の許可				すべてのビュ

カスタムショートカット

カスタムショートカットが表示される。

作成者: SystemKOMACO

## 起動時に有効または無効にできるショートカット キー

[起動時の設定] ダイアログ ボックスの [ショートカット キーを有効にする] チェック ボックスのオンとオフを切り替えると、Microsoft Access ファイル(Access ファイル : Access データベース ファイルまたは Access プロジェクト ファイル。Access データベースは、.mdb ファイル内のデータベース オブジェクトおよびデータを格納します。Access プロジェクト ファイルにはデータは含まれません。プロジェクト ファイルは、Microsoft SQL Server データベースへの接続に使用します。)の次のキーを有効または無効にできます。

キー操作	処理内容
F11	データベース ウィンドウを手前に表示します。
Ctrl + G	イミディエイト ウィンドウを表示します。
Ctrl + F11	カスタム メニュー バーと組み込みメニュー バーを切り替えます。
Ctrl + Break	Microsoft Access プロジェクトで、サーバーからレコードが取得されるのを中止します。 (Access プロジェクト : Microsoft SQL Server データベースに接続し、クライアント/サーバーアプリケーションの作成に使用する Access ファイル。プロジェクト ファイルには、データやデータ定義を基にしたオブジェクト、つまりテーブルやビューなどは含まれません。)
Alt + F11	Microsoft Visual Basic Editor を起動します。